

## 第4回 関西支部研修会

日時：平成31年1月20日(日)

場所：梅田センタービル

講師：田中 譲治先生、三輪 武人先生、松井 元生先生、  
坂倉 美菜子先生



長谷川 徹 (大阪府)



1月20日(日)に大阪、梅田センタービルにて第4回 関西支部研修会が開催されました。

午前は当会会長の田中 譲治先生にご登壇いただき、「インプラント補綴のパラダイムシフト～口腔内スキャナーの最前線からIODの勘所まで～」についてご講演いただきました。

近年「適合精度を追求するなら鋳造法でなくCAD/CAM」というパラダイムシフトを引き起こし、そして、現在では口腔内スキャナー(IOS)が進化を遂げインプラント補綴のパラダイムシフトを起こそうとしているとのことでした。なかでも印象精度の優れたTriosを日常臨床に積極的に取り入れられておられる会長のご講演は聴講者全員を魅了し、IOSに対する不安や疑問を払拭してもらえる講演内容でした。クラウン、ブリッジおよびインプラント補綴だけではなく3D プリンターとの併用による義歯製作、コピーデンチャー製作への応用に関

する勘所についてもIOS未使用者にも分かりやすく説明いただきました。

午後からはネット中継を利用した沖縄からの講演も含めて、(有)協和デンタル・ラボラトリーの三輪 武人先生、松井 元生先生、坂倉 美菜子先生に「技工室におけるデジタルサポート」についてご講演いただきました。

経験豊富な技工所の先生のデジタルデンティストリーにおける技工士の役割、医院と技工所の連携の仕方、IOSの有効活用など多岐にわたりご講演いただきました。現在のデジタルデンティストリーの現状から将来におけるデジタルデンティストリーの予測についてもご講演いただきました。

講演終了後は勿論のこと、講演中にも活発な質疑応答が行われ、非常に有意義な研修会となりました。2019年も非常に活発な関西支部になっていくと思われま